

# アジア：世界人材ランキング2019

イーストスプリング・アジア・ナウ Vol.68



## 人材育成が経済発展の鍵を握るアジア


### アジア大洋州諸国・地域14カ国中、首位はシンガポール


- ▶ 今年11月、スイスの国際経営開発研究所（IMD）が「世界人材ランキング2019」を発表しました。これは63カ国・地域を対象に、「人材の育成と投資」「国内外の人材にとっての魅力度」「人材の質や競争力」の3部門で評価をしています。
- ▶ 自国の産業を振興し、経済発展を遂げるためには、国内の人材育成が不可欠です。また、外資誘致において、海外の企業に高いスキルを持った人材をどれだけ供給できるかという点も重要となっています。今年再選したインドネシアのジョコ大統領が、「今後は人材開発に力を入れる」と宣言する等、人材を育成し競争力を高めようという動きがアジア各国でますます強まっています。
- ▶ 今年度のランキングではアジア首位はシンガポールの10位でしたが、フィリピンやインドネシア等、アジア各国で順位の上昇が見られました。今後の更なる向上が期待されます。


#### 「世界人材ランキング2019」上位10カ国

順位	国・地域	順位	国・地域	順位	国・地域	順位	国・地域
1	スイス	4	オーストラリア	7	アイスランド	10	シンガポール
2	デンマーク	5	ルクセンブルグ	8	フィンランド		
3	スウェーデン	6	ノルウェー	9	オランダ	35	日本

#### アジア各国の人材ランキング

 **台湾 20位**  
前年の27位から7ランク上昇。日本・韓国よりも上位の評価となりました。  
3つの評価項目の内、「人材の質や競争力」の順位が大幅に上昇しました。同項目内における「理工系の卒業生が占める割合」が63カ国中3位となったことや、「金融人材」、「技術労働者」などの順位が前年を上回りました。

 **インドネシア 41位**  
前年の45位から4ランク上昇。「人材の質や競争力」部門の中の「労働力の成長」が8位の他、「有能な管理職」や「国内外の人材にとっての魅力度」部門の「人材の流出」の項目では、国内に優秀な人材を留めることが出来ている点等が、高い評価を受けました。「人材の育成と投資」の部門は全体的に低い評価でしたが、2020年度予算では教育への予算が増加されており、今後の改善が期待されます。

 **フィリピン 49位**  
前年の55位から6ランク上昇。「人材の質や競争力」部門の中の「高いスキルを持つ労働力」が3位と高い評価を得た他、「言語能力」や「国内外の人材にとっての魅力度」部門の「生活コスト」等が強みと評価されました。一方、GDPに占める教育への投資の割合が低いこと等、「人材の育成と投資」部門に弱みが集中しています。フィリピン政府は今年「競争力のある人材を育成するプログラムを実施する」と発表する等、国際競争力を高めるための施策を行っています。

出所：IMD「WORLD TALENT RANKING 2019」のデータ、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。※また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。※また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

#### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ 